

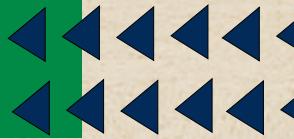
NEWS LETTER

NO.67



JCSDA

Japan Concrete
Sawing & Drilling
Association



一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会

〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目4-8 412号

Tel.03-3490-3217 Fax.03-3490-3288

<http://www.jcsda.gr.jp>

理事長挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃より当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、各地で自然災害が相次ぎ、改めて社会インフラの重要性と防災・減災への備えの必要性を強く認識する一年となりました。また、原材料価格や人件費の高騰、為替動向の影響など、建設業界を取り巻く経営環境は依然として厳しく、先行きの見通しが立てにくい状況が続いております。

このような環境の中にあっても、社会資本の維持更新や安全確保に対する需要は確実に存在しており、私たちコンクリート切断穿孔業の担う役割は、今後さらに重要性を増していくものと考えております。一方で、技能者の高齢化や若手人材の確保・育成、安全管理の徹底など、業界共通の認識も顕在化しております。

こうした課題に対応するため、当協会ではダイヤモンド工事業協同組合と共同で、「事故事例・ヒヤリハット集」を作成し、安全管理および教育の場で活用してまいります。これらの取り組みを通じて、安全意識の一層の向上を促し、業界全体の事故防止に貢献していく所存です。

また、メーカー会員各社においては、新技術を取り入れた機械や工具の開発が進められており、省力化や作業効率の向上、安全性の確保といった面で大きな成果が期待されております。施工会員とメーカー会員が連携し、これらの新しい技術や機械を積極的に活用していくことが、業界全体の生産性向上につながるものと確信しております。

本年は「午」の年でございます。午は力強く前へ進む象徴とされ、物事が勢いよく展開していく年とも言われております。変化の多い時代だからこそ、会員の皆様とともに一歩一歩着実に前進し、新たな価値を創出していく一年にしたいと考えております。

結びに会員各位ならびに関係各位のご健勝とご発展、そして本年が実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

一般社団法人 日本コンクリート切断穿孔業協会
理事長 小澤 純

目次

理事長挨拶 小澤理事長	1	施工計画の手引き掲載情報/事務局便り	11
第75回博多例会報告	2~7	企業紹介	12~15
同懇親会報告	8	会員名簿	16
例会プレゼンコーナー	9・10		

◆75回例会 出席31社47名 司会進行 広報委員長 久保 達博 氏（株式会社シブヤ）

第75回例会

1.開会宣言

15時00分 進行役久保氏による開催宣言が行われ、例会スタート。



司会進行 久保理事

2.理事長挨拶 小澤理事長より開会挨拶

皆さんこんにちは。今日は全国各地からお集まりくださりどうもありがとうございます。今日は皆さんの忌憚のないご意見や、情報交換、懇親を深めて頂けたらと思いますので、お願ひ致します。昨今のニュースですが、先日は関西万博が終了したことや丁度今日、党首会談を行っており総理大臣がどなたになるのかなと皆さんも関心があると思います。政権によって我々もインフラ整備の面で影響はされるのですが、どのような状況になっても切断穿孔業、特にJCSDAの皆さんにはこれまでなかった横の連携が過去一番あると思いますので、これを崩してはいけないのかなと思います。

また、建設業を取り巻く環境は色々な大きな課題を抱えていると思います。とりわけ皆さん感じているかと思いますが、人手不足の問題。特に技能実習生を受け入れている会社もあると思います。法改正による見直しがあり、来年施行されると思いますが、職場環境の改善だと受け入れ態勢の見直し、我々も海外の方の力を借りる場面が多いと思いますので、今後更に機会が増えていくという問題に直面しております。メーカー会員におきましても、今一番の課題は原材料の調達難、価格の高止まり、レアアース等の調達・管理が難しくなってきていることと理解しております。これは国際情勢やその時の政治の状況の影響が大きいと思います。施工・メーカーではなく業

界全体の問題としてサプライチェーンの問題というのは絶対に認識しておかないといけない。というのは、材料の供給だけではなく、現場の採算や労基にも関わるので、業界の問題として捉えないといけない。先程理事会でも話があったのですが、JCSDAは再来年35周年になります。業界では一番大きな団体として安全技術という柱があり、その柱の元に信頼を内外より受けております。今日この場が気付きや、情報共有の場として有意義な時間となりますことを期待しまして私の挨拶と代えさせていただきます。



挨拶 小澤理事長

3.地区代表会員報告

① 北海道地区代表理事 株式会社エジマ 代理 西澤 良茂 氏

(株)第一建興江島：東谷氏欠席の為ご代読)

本日は急遽欠席となり大変申し訳ありません。

北海道の夏の状況も大きく変わり、以前は7月中旬からお盆くらいまでの猛暑期間が9月中旬まで伸びてしまい、熱中症の災害事例が1番多かったのは9月でした。稼働でいえば10月いっぱい迄がピークと予想しております。昨年同様、大型工事でいえばNEXCO発注のリニューアル工事も10月中旬をメドに終わりが見えてきました。NEXCO以外の物件でいいますと、北海道新幹線に関わる札幌駅周辺の工事は昨年から現在まで継続中でこちらも10月下旬で今年度分の工事に終わりが見えたところです。この関連工事も全体20%位のワイヤーソー切断等の仕事量はありました。泊原発については再稼働に向けて1・2号機取水路増厚補強工事に伴う工事があり、今後の継続に期待したい所です。ダイヤモンド工事以外の工事(アンカー・blast等)で動き出してきて今後はコンクリート切断・削孔等の工事も大きく期待したい所です。

カッター工事(舗装切断)については今がピークで水道工事が増えており、新築・補修に伴う目地カッター工事もあった所です。昨年お話ししたカッター単価の値上等は変わらず継続して良好ではあります。しかし若干顧客離れも気配としてはあります、売上の確保・人員不足を考えるとやむを得ない選択になっております。これから冬に向けては、11月からの非出水期に河川工事がありますがそこで橋梁撤去工事や樋門撤去工事・砂防工事等がどれだけあるかと言った所です。カッター工事だけに限らず、特に大型工事では昨年同様人手不足になり協力会社も当社同様人手不足なので各現場のやりくりに困難な所が多くありました。当社は週休2日制(土日休み)とし働き方改革を進めてきましたが、祝日は休めないのが当たり前となり土曜日の現場の減少はしております。しかし、片付・段取り・遠方への移動等現場は無くてもやること満載となっているのできっちり休みが欲しい若年層にはきつい感じがします。個人的な意見ですがやはり価格をアップして給与・ボーナスで魅力を感じた会社にすることが今は必要でないかと思います。



北海道 代理 西澤氏

② 東北地区代表理事 東北カッター株式会社 高橋 辰佳 氏

前回の東京例会以降、東北地区で大きかったニュースといえば、国内の大手企業が秋田県沖の2海域の洋上風力事業から撤退すると発表がありました。地元業者でも12社が先行投資をしており、投資額も十数億と発表されています。撤退理由としては、インフレや円安による建設費の膨張により、当初の入札価格では採算が合わなくなつたためとのことで、仮に事業が進んでいたとしても採算性の確保が難しいということでした。仙台市内ではマンションやビルの解体工事が多くあるようで、ようやく地権者との折り合いがついたり、解体業者が決りこれから工事に着手するといった案件もあるとのことです。その他、以前の報告でも話した仙台市中心街の再開発も進められております。

NEXCO東日本発注の東北管内についてですが、以前から継続的に行われているところは予定どおりで進められていますが、新規の工事については発注自体が乏しい状況となっています。

サッカー・野球・バスケットボールといったスポーツ関連施設の計画や造成工事も進められており、各地で大型の建築工事が増えてくると思われます。

昨今の人手不足問題について、私の地元である青森県では専門工事業者のみに特化した一般社団法人を4年前に立ち上げ、地元の高校生や技術専門校の生徒さんに対して説明会や体験会を通じ、専門工事業の紹介や魅力を伝える活動を行っています。なかなか簡単に人材確保には結び付きませんが、若いうちから建設業のなかにも各専門工事業があるということを認知してもらうというのは非常に重要なことだと思います。もちろん私たちの会社の魅力を高めることが重要ですが、こういった活動を通して、次世代の人材確保にも努めていきたいと考えています。



東北 高橋理事

③ 関東地区代表理事 第一ダイヤモンド工事株式会社 阿部 広 氏

東京都内および首都圏では、都市機能の高度化、国際競争力の強化、災害・洪水対策を目的とした大型プロジェクトが多数進行しております。

まず日本橋エリアでは、首都高速道路日本橋区間の地下化事業が進行中です。約1.8kmわたる高架橋を撤去し、地下トンネルを新設するもので、2035年度トンネル開通、2040年度の高架橋撤去完了を目指しています。この工事と併せて、新京橋連絡路の整備が行われ、既存の環状線と地下トンネルを接続することで、交通機能を維持しつつ都市空間の再生を図ります。この工事も2035年完成予定です。また日本橋川両岸で5地区の再開発プロジェクトが進行中です。

次に品川エリアでは、リニア中央新幹線開業を見据え品川駅西口地区再開発計画やJR東日本による高輪ゲートウェイシティプロジェクトが進行中です。

また新しく事業が始まつたのが築地地区まちづくり事業です。築地市場跡地19ヘクタールに関東スタジアム・商業複合棟・ホテル・オフィス棟などを2030年代前半までに施設を開業する計画です。次に鉄道整備工事も重要な位置を占めます。東京メトロ南北線の白金高輪～品川間延伸は約2.5kmで、輸送の効率化と品川駅周辺再開発との連動が期待されます。また有楽町線も豊洲～住吉間の4.8km区間の延伸工事が2035年完成予定で進んでいます。

次に埼玉県八潮市で2025年1月に発生した道路陥没事故については、現在も復旧工事が進行中で現場周辺では交通規制が継続しています。破損した下水道管の修復工事は年内に完了し、来年3月までに埋め戻しと通行再開が予定されています。ただし下水道管の複線化を含めた本格復旧の完了は数年先になる見通しです。次に毎年のように全国各地で豪雨による災害が発生しております。東京都内では豪雨に対して大きな効果を発揮する地下調節池が数カ所整備されています。貯留量は合わせて150万m³で進行中の総事業費は約6000億です。

また都内では再開発プロジェクトの延期が増えて来ています。延期される原因是、建設費の高騰と人手不足でこれらによって施工業者が決まらず、工事の着工が遅れています。特に大規模な再開発では、長期にわたる工期中の資材価格の上昇がゼネコンにとって大きなリスクとなり、工事を引き受ける会社が見つかりにくい状況です。都内では、多くの巨大プロジェクトが2040年ごろまでの完了にむけて同時進行していく、その一つひとつの事業をみるとそのスケールの大きさに驚かされております。今後も会員の皆様と協力して取り組んで参りたいと考えています。これからさらなるコンプライアンスの厳格化等、住みにくくして働きにくい日本社会に向かっている様な気がしますが、良い時代の話ばかりしても仕方ないので、さらなる努力と工夫をして会社及び協会が持続可能な団体になれるように頑張ってまいります。



関東 阿部理事



④ 東海地区代表理事 江島産業株式会社 稲積 雄司 氏

東海地区の近況報告とのことですが、最近はあまり社業に関わっていないので仕事の話は後程少しだけさせていただきますが、今年も名古屋の夏は、暑かった。それ以上に日本中が暑かったという話題を少しお話させていただきたいと思います。

6・7・8月 3か月間の統計を拾ってまいりましたが、

札幌	猛暑日	2日	真夏日	35日	熱帯夜	2日
仙台	猛暑日	14日	真夏日	57日	熱帯夜	22日
東京	猛暑日	18日	真夏日	69日	熱帯夜	45日
横浜	猛暑日	12日	真夏日	67日	熱帯夜	53日
名古屋	猛暑日	44日	真夏日	72日	熱帯夜	61日

なんと名古屋は8/16に40.9°Cを観測。9/17にやっと熱帯夜を離脱。

大阪は猛暑日40日 真夏日75日 热帯夜65日。

そしてご当地福岡は猛暑日26日 真夏日70日 热帯夜65日。福岡の熱帯夜もソフトバンクナイターの熱気ですかね。参考までに沖縄は猛暑日0日 真夏日85日 热帯夜83日、と沖縄が避暑地になっていくような数字でした。

また今年、各地で頻繁に発令された「危険な暑さ」「熱中アラート」は札幌の70日が最多で、仙台の69日、東京 埼玉 横浜 川崎の66日となっております。名古屋はずーっと暑いので番外で忘れられているようです。ご参加いただいております皆様も、猛暑の疲れが溜まっているのではと思われます、どうかご自愛いただきますよう、また大事な社員様の健康管理にご留意いただければと思っております。一昨年より、ワークライフバランスを意識して健康職場とかエイジフレンドリー適材適所で生産性の向上を目指すと国はかかげておりますが、人間が働く環境自体が限界に近づいているのではないかと危惧しております。そんな中昨年、生意気にもメーカー様の工夫で、環境改善ができないでしょうか？と投げかけさせていただきました。色々と検討・開発をしていただき、良い製品が開発された、また準備中と聞いております。メーカー様の協力に僭越ではありますが、心よりお礼を申し上げます。

さて仕事の方ですが、名古屋市や愛知県の発注は渋り気味です。NEXCOでは東海環状線の9割が完成して、残す1割が2026年度完成に向けて進捗中。名神・東名・中央道・東名阪のリフレッシュも各地にて進行しております。東海環状は関東でいえば圏央道と似ていて、完成すれば東名・名神・中央道・東名阪とつながり、飛躍的に利便性・時間短縮となります。それに伴って東海環状線沿線では、工業団地と物流センターが3倍の数となっております。



東海 稲積理事

⑤ 関西地区代表 コンクリートコーリング株式会社 藤尾 浩太 氏

関西は今、建設業界にとってまさに“転換点”を迎えてます。再開発の動きと、老朽インフラの更新が同時に進み、私たちの技術と使命が問われる時代になりました。まず、今年の大きな節目が大阪・関西万博です。半年にわたって多くの来場者を迎えたこの国際イベントも、今週の日曜日で幕を下ろしました。しかし、私たちにとって重要なのは「閉幕後」です。会場となった夢洲では、統合型リゾート（IR）構想を中心に、跡地開発が進められています。このIR整備は、観光・国際会議・エンターテインメント施設の複合開発であり、交通・上下水道・電力など多方面のインフラ整備を伴う、まさに「建設業総合プロジェクト」と言えます。

また、阪神高速道路やNEXCO西日本でも老朽インフラの大規模更新が進んでいます。阪神高速は、建設から60年を超える構造物が増え、今後30年間でおよそ1兆円規模の更新投資が見込まれています。一方、NEXCO西日本でも、山陽道や中国道など主要幹線の耐震補強や橋梁更新が進行中です。交通を止めずに進める難易度の高い施工現場では、まさに我々の技術の真価が問われています。そして、これらの大規模需要が続く一方で、業界全体では深刻な人材供給の不足が予測されています。

各種調査によると、2030年には全国でおよそ20万人規模、2040年には60万人を超える人手不足が見込まれています。つまり、「価格決定権は得るもの、仕事はあっても人がいない」時代が確実にやってくるということです。このような需給ギャップが拡大する中で、私たちが真に取り組むべきは、同業者同士の健全な競争と協調です。案件の取り合いによる価格の下げ合いを繰り返すことは、最終的に利益が削られ、人材育成や安全対策への投資ができなくなります。特に大都市では老朽化したインフラが多いので工事が集中する傾向が強まります。だからこそ、地域を超えた応援体制や相互の下請け協力を通じて、お互いが利益の出る適正価格で受注することが、この業界全体の持続性を守る第一歩だと考えます。

これから建設業は、「つくる力」と「まもる力」、そして「つなぐ力」が問われる時代です。万博跡地の開発、IR構想、阪神高速やNEXCOの更新事業、そのどれもが、未来の関西を支える基盤づくりです。私たちは単なる施工者ではなく、地域社会の安全と価値を創るパートナーという地位を確立しなければなりません。大阪・関西万博は閉幕しましたが、その跡地から、新しい関西が始まることを期待しています。人材を育て、技術を磨き、そして互いにプロジェクト毎によっては支え合う産業構造を築くことで、この地域の未来を力強く支えていかなければと思います。



関西 藤尾理事

⑥中国・四国地区代表理事 株式会社コンセック 野田 隆氏

皆さんお疲れ様です。中国地区の今年の現状は、上半期については広島駅再開発工事も終わり、広島港桟橋解体撤去も今回は重機による解体で当社の出番が無くなり残念な結果となりましたが、次回に向けて動き始めました。

それと繰越工事が殆ど無く、4・5月は悲惨な状況で推移しました。上半期では島根原発の案件は、追加工事にて水門のワイヤーソー切断撤去他アンカー工事が有りこれが最後の工事となりました。毎年発表が同じ内容になっていますが、下半期から本格的に水力発電所設備更新工事が始まる他、既設ダムの設備改修工事（乾式ウォルソーカット・乾式ワイヤーソーカット）なども11月からスタートします。

下半期は10月から高架水槽解体・橋梁解体・南海トラフ対策耐震工事・工場内耐震補強工事などが動き出します。

来年の動きについては製鉄所のコークス炉の改修工事で試験施工が始まり、他にも電気炉の定期改修工事が動き始めます。これは特殊な案件で、特殊ワイヤーや特殊コアピット等を製作し現場へ対応しています。また、案件毎に湿式・乾式工法をそれぞれに提案しており、湿式工法では汚泥脱水処理の提案を併せてPRしております。また、四国地区では、高速道路の耐震補強工事が毎年発注されております。

来年度の発注予定案件は、土木系コンサル・役所等から引き合いが幾つか有り桟橋の撤去・防波堤の撤去・まだまだ残っている高架水槽の撤去が有り計画の段階で積算見積や施工状況図の作成と手順書の作成などお手伝いをしている状況です。民間工事では、私立の大学病院の建て替え工事が進んでおり既設建物の解体も始まり長期のプロジェクトが進んでいます。耐震補強工事では、特許工法にて発注されている案件を同等の強度での工法にて変更し受注する事が多くなりまだ多くの案件が出る様です。橋梁メーカーからは入札用見積依頼（新工法の提案）を含めて対応しております。以上で中国・四国地区的現況を発表させていただきました。

⑦九州・沖縄地区代表理事 株式会社コムカット 河口 幸史 氏

九州地区的現況報告をさせていただきます

まずNEXCO九州地区的リニューアル工事についてです。本州ほど工事量は多くはありませんが閑門橋で現在工事が続いており、天候などの影響などで工期が半年ほど伸びる見込みとなっています。

南九州の鹿児島県でリニューアル工事が引き続き予定されており、沖縄県でも北部で来年から予定されています。近年の豪雨災害を受け、橋脚の流出や破損防止の為、橋脚の無い構造や橋長延長架け替えなど、災害対策を考慮した設計見積もり依頼が増えています。熊本では、半導体工場TSMCの第二工場の建設が本格的に動き始めています。周辺では交通渋滞が発生していますが、地元の自治体も交通対策を進めており地域全体で対応が続いている状況です。電力では水力発電機基礎撤去工事などは継続中で、鹿児島では風力発電の転倒基礎切断もありました。鹿児島の離島の種子島、沖永良部島などで下水道整備のカッター工事が15キロ、20キロ規模で進められています。一方、馬毛島は当初予定より工事が遅れており、年末位から本格的な我々工種が始まる見込みです。近年の物価高や人手不足に等まだ本格的な施工単価の見直しや検討が必要なのですが人件費、輸送費に関しては優遇されています。福岡空港は第二滑走路が供用開始に合わせて、国内線ターミナルビルやホテル、バスターミナルの新築工事が進んでいます。これに伴い、福岡都市高速3号線の空港延伸工事も進められており、国道3号線に地下トンネルにて接続し2029年に開通を予定しています。これにより空港アクセスが大幅に改善される見込みです。

北九州空港は現在滑走路延長工事が始まっており、現在2500mから3000mへの延長を2027年完成目標に進められております。

続いて先日、地元のニュースで耳にしたお話を。JR九州が再開発事業博多コネクテッドの一環として博多駅の線路上に新しいビルを建設する博多駅空中都市プロジェクト。総工費はおよそ435億円という大きな計画でしたが、途中で中止になりました。線路の移設や準備工事だけでも約60億円をかけて進められていましたが、線路上という特殊な場所での工事に加え近年の工事費の高騰もあり、当初予定の2倍近い費用がかかる見込みになった為計画が白紙になったという内容でした。

また、先月、九州地区の同業者の集まりが開催されました。その中で多く挙がった話題として、8月・9月は全体的に仕事量が少なかったこと、そして各社で材料費や人件費の上昇に伴い施工単価を改定したことが挙げられます。特に、アスファルト切断（15cm以下）の工事は仕事量が減少傾向にあり、単価を引き上げる動きが広まっているとのことです。また、ドライ工法については元請業者からの相談はあるものの、九州ではまだ採用例が少ない状況です。人手不足が続く中、今後は同業者同士が協力し合い、横のつながりをより強めていくことの重要性が改めて確認されました。各社は単価が上昇傾向にあるため九州各地で見積もりを提出する際は高めの単価設定を意識することが望ましいと考えられます。



中国・四国 野田理事



九州・沖縄 河口理事

4.委員会報告

① 企画委員会 田中委員長（第一ダイヤモンド工事株式会社）

本年度はDCAさんと一緒にヒヤリハットと事故事例をまとめさせて頂き、現場での事故を防ぐための資料を作成予定です。本年度中に完成を目標にして取り組んでおります。今後も企画委員会として、挑戦していきますのでご意見等ございましたら是非お寄せください。



企画 田中委員長

② 広報委員会 久保委員長（株式会社シブヤ）

広報では定期企画のニュースレターの発行66号を8月に発刊致しました。現在HPにて掲載しております。内容としましては、総会・東京例会の記事。また、1月に開催されたWOC、4月に開催されたバウマツアーカーの記事等、28ページに渡る盛りだくさんの記事となりました。ご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。また、当ニュースレターは冊子として発刊し皆様のお手元に届いていると思います。既にご覧いただきお分かりになるように全面カラーとして一新を致しました。こちらの作成に関しましては、事務局落合さんの協力が多く改めて感謝申し上げます。次号は2026年2月の発刊となります。本日の博多例会の記事を中心に久々の「企業紹介」の企画を再開したいと思います。



広報 久保委員長

③ 調査委員会 砂川委員長（第一カッター興業株式会社）

本年度7月に施工計画の手引き例年通り更新いたしました。今回は会員の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。それに併せてアンケート結果を反映した改定となりました。一つがフラットソーイング機械の選定部の改定という事で、切断深さで機械が選定されない様な形となっていたものを、会員様が工事に合わせて任意で選定出来るような内容に改訂いたしました。もう一つもフラットソーイング機械の損料表ですが、そちらの運搬車に4t トラックも追加いたしました。最後に、ウォールソーイング参考価格の中で各メーカーさんのブレード価格を掲載しているのですが、おそらく何十年も更新されていませんでしたので、メーカー部会にご協力頂いて、最新の価格を掲載させていただきました。以上、3項目が大きな改定となっております。引き続き施工計画の手引きに関してご要望等ございましたら調査委員会砂川までご連絡いただけたらと思います。引き続きご協力の程お願い致します。



調査 砂川委員長

④ 國際委員会 渋谷委員長・澁谷彰範氏（株式会社シブヤ）

（渋谷委員長）

平素は国際委員会の関連事業に全国の皆様にご協力いただきまして誠にありがとうございます。今年は1月にWOCの視察ツアー、4月にはドイツバウマにて開催されたツアーを皆さんと視察させていただきました。来年1月18日からWOCツアーのメンバーを募集しております。これに関しては、弊社専務の澁谷よりご紹介させていただきます。

（澁谷彰範氏）

只今ご紹介いただきました澁谷でございます。WOCにつきまして、9月ごろに皆様にご案内をさせて頂きました。今年は1月18日から24日迄の1週間アメリカで視察を行いたいと考えております。ご興味ある方いらっしゃいましたら、是非ご一緒したいと思っております。



国際 渋谷委員長



澁谷彰範氏

⑤ メーカー部会 増田メーカー部会長（旭ダイヤモンド工業株式会社）

メーカー部会として8月1日に部会を開催させていただき、13社中11社18名にご出席いただきました。その中で各社近況報告がございまして各社ともに昨年後半からダイヤモンド工具・機械部品売り上げ不振が続いている。また、先程理事長からもお話をございましたように原材料、人件費の高騰が続き、利益を圧迫しております。施工会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、ここ2、3年の間に各社とも値上げをさせて頂いているかと思います。また今後も値上げをせざるを得ない状況が続いております。施工会員の皆様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。また、ここにきて中国の不穏な動きが出てきましてレアメタル全般に少し不安があります。工事としては八潮市の陥没事故や断水被害もあり、国土強靭化計画の2030年度までに老朽化する上下水道、道路耐震管理、ライフラインの整備や高速道路のリニューアル、鉄道、橋などの老朽化耐震に関する工事が増えてくるのではないかと期待しております。一方でコメ不足、働き方改革など厳しい環境ではありますが、私共メーカーは切斷・穿孔時間の短縮に繋がる様製品開発に尽力します。

資料としてダイヤモンド工業会の売上数値を添付させていただいております。最後に、メーカー部会からのお願いとして施工会員の皆様にはできる限り当協会の会員からの購入をお願いしメーカー部会からのご報告とさせていただきます。



増田メーカー部会長

5. 技術情報 プレゼンコーナー

①[可変操作付きミック1 30KDCSF]

株式会社クライム 宮崎 雄太 氏（関連記事P9掲載）



プレゼン風景

6. 事務局報告 落合事務局員 事務局便り（P11）参照



事務局報告 落合事務局員

7. 閉会の辞 高橋副理事長（第一カッター興業株式会社）

長時間に渡り、皆さんからの地区報告、各委員会からの報告、2社からのプレゼンありがとうございました。この福岡例会で前回センター機材の社長が「なんで福岡のサバは刺身で食べられるのだろうか」とお話をされて頂いたのを覚えています。そういう魚も今潮の流れや海水温度の上昇によって漁獲量、漁獲地域が変わってきております。これも人間の起こした気候変動の影響です。我々建設業の中でも、働くような気温・環境じゃないそんな中でも我々にはインフラを守っていかなければならぬ使命があります。その狭間でしっかりと働き方をつくっていかなければならぬ。しかし、先日国交省が先日宇都宮国道で実験をした休工期間を設ける夜間作業を増やす、こういった事が全国的に広まるかもしれません。そうなると一般の方が休んでいる中でも我々が時間をずらして働く事が考えられて、その為には今以上に我々に対しても「見られ方」が問われるようになってくると思います。そんな中でも人を採用し、今いる従業員の人たちに快く働いて貢う為に魅力的な仕事でなければいけないと思いますので、その為には横の繋がりなどをより意識して日常の仕事、お付き合いをしていきたいなあと思います。そういう意味で、今日福岡の皆さんのが中心となって準備をしてくださいました。その準備を感謝しつつ、有意義な懇親の場である事を願います。以上をもちまして第75回博多例会を閉会いたします。



閉会挨拶 高橋副理事長

以上、17時15分プログラムを全て終了し、盛況の中例会は閉幕した。

懇親会

第75回博多例会に引き続き17時30分より、同宴会場 レグルスAの間で、懇親会が執り行われた。小澤純理事長(コンクリートコーリング株)の開会挨拶、続いて来賓の下村俊夫ダイヤモンド工事業協同組合理事長による挨拶の後、河口幸史理事(株)コムカット)の乾杯の発声で懇親会がスタート。参加の皆様は大いに盛り上がり、和やかに懇親を深められた。

盛況の中19時30分、平田健氏(ダイヤモンド機工株)の中締めでお開きとなり、散会となった。



懇親会開会 小澤理事長



来賓 DCA下村理事長



乾杯 河口理事



後列左から 阿部 村田 野田 渋谷(憲) 田中(隆)
前列左から 清水 藤本 河口 各氏



後列左から 渋谷(彰) 伊原 柳 田中(芳) 国司
前列左から 神田 貴島(恵) 平田(豪) 各氏



後列左から 久保 樅 北村 船本 北原
前列左から 平田(健) 稲積 高橋(辰) 各氏



後列左から 原野 宮崎 下村 鉄田 河崎
前列左から 小澤 落合(則) 貴島(武) 各氏



後列左から 五嶋 村上 上田 海瀬
前列左から 岡田 藤尾 濱田 各氏



後列左から 増田 下條 畠澤 西澤 渡邊
前列左から 仲山 山祿 高橋(正) 各氏



後列左から 秋山 若林 酒井 砂川 落合(え)
前列左から 松尾 長谷川 鶴岡 各氏



中締め 平田健氏



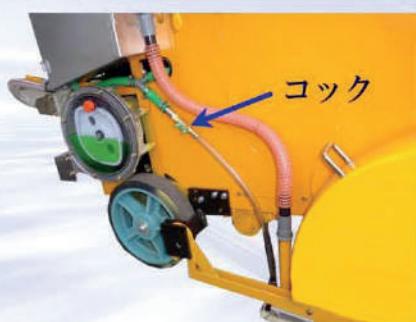
中締め会場風景

汚泥回収クリーンノズル ミニ圧送ポンプ

ホース1本で汚泥をクリーンに吸い上げ
ミニ圧送ポンプでタンク位置が下方でも
水量確保出来、ブレードライフがアップします。



ミニ圧送ポンプ
配線セット新発売
汚泥回収に絶大効果発揮
ポンプ脱着容易



装着画像



吸い込み画像



既存の機械に容易に取付可能
2分割カバー、ワンタッチカバー対応

*ミニ圧送ポンプ性能：揚程 3.5 m、700 L/H
低いタンク位置で圧送、水量確保。



株式会社

クライム

AZZ5/6シリーズ新機能 切削痕洗浄装置 2025年11月発売開始

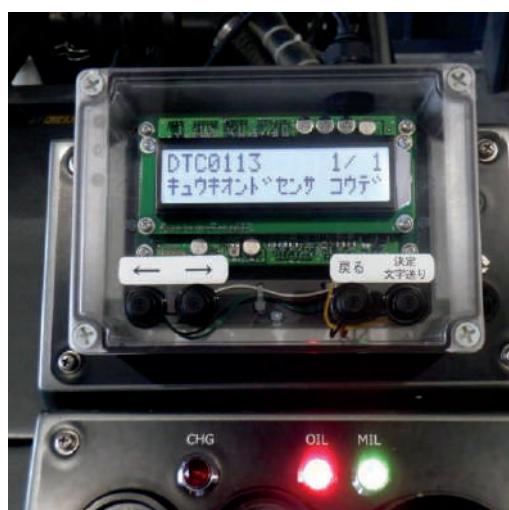
機械後方からポンプで清水を噴出して路面を清掃!
切削痕が残りずらくなり、清掃の手間が減少!!



WG1605エンジンAZZシリーズ対応 簡易故障診断装置

コネクタをつなぐだけ※でエラーコードが確認可能

※2018年より前に製造されたエンジンは一部配線に加工が必要



エラーコードを確認して
トラブルの原因を特定!
修理工数の低減と早期復旧が可能!!

■対象機種

- AZZ 6 シリーズ
- AZZ356
- AZZ406
- AZZ II 506
- AZZ5シリーズ
- AZZ355
- AZZ405
- AZZ II 505



【施工計画の手引】掲載のお知らせ

フラットソーイング工法	(第26版)
コアドリリング工法	(第26版)
ウォールソーイング工法	(第26版)
ワイヤーソーイング工法	(第18版)
乾式コアドリリング工法	(第11版)
乾式ウォールソーイング工法	(第11版)
乾式ワイヤーソーイング工法	(第11版)

令和7年7月1日に内容を更新改訂致しました。

当協会ホームページに掲載しておりますので、皆様、是非ご活用下さい。

内容に関するご質問お問い合わせ等は、協会事務局にご連絡下さい。

調査委員会 委員長 砂川 高寛

JCSDA 事務局便り

◆会員移動

- 1)施工会員 : 34社 入会:なし 退会:なし 休会:1社
2)メーカー会員 : 13社 入会:なし 退会:なし
3)友の会会員 : 42社 入会:なし 退会:なし

◆会員募集:詳しくは事務局までご連絡下さい。入会申込書をお送りします。

	正会員			友の会会員
	施工会員年商2億円以上	施工会員年商2億円未満	メーカー会員	
入会金	10万円	10万円	10万円	なし
年会費	20万円	15万円	20万円	2万円

◆会員情報

代表者変更 なし
住所変更 なし

☑ホームページが新しくなりました



*お願い

会員各社様の各種情報(代表者・所在地・TEL/FAX番号等)変更の場合には、
その都度必ず当事務局宛ご一報を下さいます様、お願い致します。

◆例会開催予定

第34回定時総会第76回例会
アートホテル日暮里(東京)にて令和8年5月26日(火)開催予定。
詳細は事務局よりご案内させていただきます。

◆事務局より

協会ホームページを新しくしました。(令和7年7月1日より)



企業紹介：株式会社コムカット



創業当時（現社長 2歳頃）

株式会社コムカットは、昭和46年（1971年）、創業者・河口正宏により福岡で創業しました。事業の原点となったのは、舗装およびコンクリートのカッター切断工事です。そうした状況の中で、創業者の卓越した技術への探求姿勢と、誠実で丁寧な施工が高く評価され、地域からの信頼を築きました。工事規模や施工領域は徐々に拡大し、インフラ施工企業としての基盤が築かれてきました。創業から50年以上にわたり、地域に密着しながら確かな技術力と誠意ある姿勢を守り続けてきましたが、今日のコムカットを支える搖るぎない土台となっています。

意ある姿勢を守り続けてきたことが、今日のコムカットを支える搖るぎない土台となっています。昭和56年には、「株式会社道路カッター工業」を設立し、より組織的に施工品質を追求できる体制が整いました。その後、施工内容の拡大や企業イメージの刷新を図るため、平成4年に現在の社名「株式会社コムカット」へ変更し、本社も現在の所在地へ移転しました。設備の充実や安全管理体制の強化を進め、時代のニーズに応じた柔軟な施工体制を整えることで、長期的かつ安定した成長を続けています。

社名の“CUMCUT（コムカット）”は、「CUM=コミュニケーション」と「CUT=切り開く」を組み合わせた言葉であり、社内外を問わず円滑な意思疎通を大切にしながら、新たな価値を切り開くという想いを込めています。この理念は創業以来大切にし、現在においても変わらず企業活動の中心に据えられています。

現在は、二代目代表である河口幸史が事業全体の舵取りを担い、創業精神を継承しながら、施工品質向上や新技術導入に注力しています。従業員数は男女21名。社内の合言葉は「今一步前に」。社員一人ひとりが課題に向き合い、昨日よりも一步前へ挑戦するよう心掛けていると私は感じています。

当社が特に注力する空港工事は、夜間作業や限られた施工時間、厳格な安全基準など、多くの高度な条件が求められる領域です。飛行機の運航を妨げないための緻密な計画、正確な作業、迅速な対応力が欠かせず、通常の工事とは異なる専門性が必要となります。そうした環境下でも、社員一人ひとりが高い技術力と責任感、プロ意識をもって業務に取り組み、空港の安全と円滑な運用を支える確かな施工品質を守り続けています。

また、社員同士の結束力を高める社内行事も大切にしています。社員旅行や協力会社を含めてのゴルフコンペといったイベントを定期的に行い、仕事の場だけでなく、互いの人柄を知り合い、笑い合える関係づくりを重視しています。こうした交流は現場における連携力を高め、結果として企業全体の力につながっていると思います。



事務所写真（3点）



技術面では、創業時からのカッターカット技術を核にしながら、時代と共に専門領域を広げてきました。昭和58年頃には滑走路グルービング工事を開始し、空港分野（米軍基地含む）への参入を本格化しました。さらには昭和60年にはウォータージェット工法を導入し、滑走路ゴム除去工、ペイント（ライン）消去、空港以外ではトンネル壁面清掃、コンクリート研磨など、より高度な精度が求められる工事に対応できるようになりました。現在では、滑走路・誘導路グルービング、エプロン目地施工、空港灯器ボーリング、空港標識など、空港に不可欠な多様な工種を一貫して手がける専門施工業者としての立ち位置を確立しています。さらには交通安全施設業へと展開して、より幅広いインフラ維持管理にも対応しています。

さて、本社を構える福岡・博多は、古くから交易の拠点として栄えてきた活気ある都市であり、文化と伝統が融合する魅力にあふれています。夏の博多祇園山笠、春の博多どんたく港まつり、秋の筥崎宮放生会、冬の大相撲九州場所、福岡国際マラソンなど、一年を通じて多彩な行事が開催され、訪れる人々を魅了し続けています。

JCSDA会員の皆様にも、ぜひ福岡に足を運んでいただき、博多の文化と食、そして街の魅力を存分にご堪能いただければ幸いです。私たち株式会社コムカットは、これからも「今一歩前に」の精神を胸に、空港インフラの未来を支える専門企業として、社会に貢献し続けてまいります。

記事作成：常務取締役 北村友和

企業紹介：ダイヤモンド機工株式会社



会社の歴史・事業紹介

弊社は、1973年に福岡市城南区樋井川で会社を設立しました。当時私は4歳でしたが、会社が現場詰所の様なプレハブだったことをぼんやりと覚えています。1977年北九州営業所、1982年熊本営業所がそれぞれ開設され、1983年に福岡本社を福岡市城南区南片江に移転し、現在の3拠点体制となりました。

事業内容は、今でこそ橋梁撤去や海洋土木構造物撤去、ダム関連や水力発電所改修工事等々ワイヤーソーを中心とした土木工事が殆どですが、設立当初はコアドリル・アンカー専門の工事会社で、ほとんどが設備改修用コアドリル工事や建築アンカー工事でした。大型工事と言えば、玄海や川内の原子力発電所内の改修工事。当時は、ワイヤー破断による安全面の不安から、ワイヤーソー工法が採用されず、大型コンクリート構造物の解体をプランジソーで行いました（今では不安も解消し、ワイヤーソー工法が採用）。

弊社がワイヤーソー工事を開始したのが1990年、若戸大橋の改修工事を行ったのが最初だったと思います。その頃私はまだ学生でしたが、アルバイト（今では考えられませんが、安全書類が厳しくなったので）として現場で水汲みや資材運搬、コア受けといった手元作業を行っていました。ワイヤーソー1号機は、手ではとても運べない大型の機械と記憶しています。

その後、1997年に入社しますが、まだまだワイヤーソーを中心とした土木工事より、非破壊検査を併用した設備改修コアドリルや耐震補強等のアンカー工事中心で、お客様から「コア屋さん、アンカー屋さん」と呼ばれていました。40年ほどかけて少しづつ、設備・建築のコア・アンカーを中心とした工事会社から、土木のワイヤーソーを中心とした切断解体工事会社に移行したように思います。

2008年8月に、乾式ワイヤーソー工事、同年9月にウォータージェット工事を開始。現在は施工高の8割を土木工事が占める会社に変わりました。

トピックス

2025年11月9日の日曜日に福岡マラソン2025が行われました。福岡市と隣の糸島市が主催する市民参加型のマラソンとして親しまれています。回を重ねるごとに応募者が増え、抽選となるため、なかなかの狭き門です。キャラクターに仮装したランナーがいる等にぎやかな大会で、今回は約15,000人が参加した様です。コースは、福岡で一番の繁華街、天神をスタートし、西に向かい、海沿いを抜けて、隣の糸島市がゴールになります。

弊社は、4名の社員が走り、全員完走。4時間切るタイムも出て驚きです。福岡マラソンは、今大会で12回目の大会となります。第1回大会から、9回出場した社員がいます。抽選に9回当たる強運もすごいことですが、毎晩仕事が終わってから練習する努力もすごいことだと思います。また、周りに声をかけ、仲間を増やし、毎年3~4名の社員が参加するまでになりました。今後も応援し続けたいと思います。

おわりに

2025年10月15日にKKRホテル博多にて第75回博多例会、翌16日にゴルフ懇親会が福岡カンツリー倶楽部和白コースにて行われました。多数のご参加ありがとうございました。また、事務局や福岡の会員の皆様、準備お疲れさまでした。

日本コンクリート切断穿孔業協会が設立されたのが1992年ですので、33年の歴史があることになります。弊社も創業時から入会し、私は2000年頃から参加したと記憶しております。当時の例会と比べますと、ほとんどの会社が代替わりし、2代目、3代目の若い経営者の参加が多く見受けられ、随分若返ったなあという印象です。また、地区代表報告や、懇親会での会話の中で、日ごろは会員同士で工事応援をし合っているとの話を聞き、協会会員会社のつながりの強さを感じます。弊社も協会を通じて様々な会社を知り、お付き合いさせていただいております。今更ながら協会の存在と継続に感謝申し上げます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。



記事作成：取締役 平田豪

会社名	所在地	電話番号	FAX番号
(株)エジマ	〒078-2600 北海道雨竜郡雨竜町字満寿36-9	0125-79-2011	0125-79-2012
(有)栄進カッター工業	〒003-0869 北海道札幌市白石区川下2065-2	011-873-6908	011-873-6909
第一建興江島(株)	〒065-0023 北海道札幌市東区北23条18-2-3 2F	011-751-0410	011-771-6361
東北カッター(株)	〒038-0021 青森県青森市大字安田字若松60	017-766-9230	017-766-9244
井上工業(株)	〒990-2482 山形県山形市久保田2-1-47	023-645-8877	023-645-8395
(株)ベストムサービス	〒342-0036 埼玉県吉川市高富大場川1059	048-983-8560	048-983-8570
コンクリートコーリング(株)	〒177-0054 東京都練馬区立野町16-12	03-3928-3023	03-3929-8997
第一ダイヤモンド工事(株)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見3-14-27	03-3417-1911	03-3417-3777
(株)ダイイチ	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見5-1-7	03-3416-0411	03-3416-0412
(株)シンワダイヤ	〒116-0001 東京都荒川区東日暮里1-27-10	03-5850-6200	03-5850-6201
小笠原興業(株)	〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-41-2	03-3928-1514	03-3928-1508
(株)丸辰道路工業	〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町338	045-476-4012	045-476-4013
第一カッター興業(株)	〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園833番地	0467-85-3939	0467-88-0567
中央総業(株)	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1-4F	042-765-5500	042-765-2822
浜田工業(株)	〒226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町4805	045-921-6500	045-921-2420
(株)D-1	〒940-1104 新潟県長岡市損田屋町2701-13	0258-89-7685	0258-89-7686
(株)トータス	〒399-0701 長野県塩尻市広丘吉田276-17	0263-97-3121	0263-97-3122
江島産業(株)	〒457-0003 愛知県名古屋市南区鶴田1-5-13	052-821-9305	052-821-9339
東海カッター興業(株)	〒462-0017 愛知県名古屋市北区落合町135	052-901-4811	052-901-4812
コンクリートコーリング(株) 大阪	〒534-0001 大阪府大阪市都島区毛馬町5-15-28	06-6924-4517	06-6928-1263
(株)ティー・ビー・シー・ダイヤモンド	〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上321-2	072-363-4145	072-363-4146
(株)日本コンクリートカッティング	〒578-0921 大阪府東大阪市水走5-5-50	072-960-5910	072-960-5911
(株)丸辰道路工業	〒581-0054 大阪府八尾市南龜井町2-4-51	072-923-7579	072-923-2499
北辰工業(株)	〒570-0032 大阪府守口市菊水通4-12-15	06-6997-2426	06-6997-2429
(株)佐藤工業	〒653-0805 兵庫県神戸市長田区片山町5-11-24	078-612-0413	078-621-0421
(株)中国カッター鳥取	〒680-0905 鳥取県鳥取市賀露町129-2	0857-28-9808	0857-28-9815
(株)コンセック	〒733-0833 広島県広島市西区商工センター4-6-8	0822-77-5452	0822-78-6389
九州ダイヤモンド工事(株)	〒814-0174 福岡県福岡市早良区田隈2-23-6	092-864-7600	092-864-7638
(株)コムカット	〒811-1314 福岡県福岡市南区の場2-21-2	092-571-1971	092-585-5647
(株)センター機材	〒812-0894 福岡県福岡市博多区諸岡5-1-8	092-591-2828	092-591-3078
ダイヤモンド機工(株)	〒814-0143 福岡県福岡市城南区南片江2-30-21	092-801-0011	092-863-5707
(株)リュウキ	〒807-0852 福岡県北九州市八幡西区永犬丸西町4-20-28	093-601-6777	093-601-6888
(株)旭工業	〒885-0004 宮崎県都城市北町1715-2	0986-36-6650	0986-36-6651
(株)西部システム	〒899-4346 鹿児島県霧島市国分府中町26-33	0995-46-9015	0995-46-9016

メーカー会員 13社 50音順

会社名	所在地	電話番号	FAX番号
旭ダイヤモンド工業(株)	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1-11F	03-3222-9299	03-3222-6530
エービーハーダイヤモンド(株)	〒358-0014 埼玉県入間市宮寺2596-7	042-934-3110	042-934-3169
(株)クライム	〒146-0081 東京都大田区仲池上1-29-3	03-3753-2014	03-3753-3339
サンゴバン(株)アブレイシブ事業部	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7	03-6272-6585	03-3221-9976
(株)シブヤ	〒738-0021 広島県廿日市市材木港北3-86	0829-34-4507	0829-34-4508
(株)DAS	〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-15-4F	03-5461-7501	03-5461-7525
仲山鉄工(株)	〒426-0055 静岡県藤枝市大西町3-14-1	054-635-1383	054-635-0418
日本ダイヤモンド(株)	〒224-0054 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町686-1	045-939-3000	045-939-3009
日本ヒルティ(株)	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	0120-66-1159	0120-23-2953
ノリタケマシンテクノ(株)	〒202-0014 東京都西東京市富士町2-13-17	042-461-5175	042-461-6310
ハスクバーナ・ゼノア(株)	〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9	0570-66-6778	0120-365-295
ビースダイヤモンド工業(株)	〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4145-2	045-593-1271	045-892-2494
理研ダイヤモンド工業(株)	〒116-0002 東京都荒川区荒川1-53-2	03-3805-3471	03-3805-2434